

## 伊藤大使のサン・ホセ病院における医療機材引渡式出席

令和6年12月4日、伊藤大使は、サンティアゴ市インデペンデンシア区にあるサン・ホセ病院で開催された、日本の無償資金協力事業で供与された医療機材の引渡式に出席しました。

この事業は、新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、保健・医療体制の安定・強化に貢献することを目的として行われたものです。チリでは、サン・ホセ病院を含む計18の病院に対し、総額4.6百万米ドルの医療機材が供与されており、本病院には移動式X線撮影装置1台が設置されています。病院からは、移動式装置の特性を活かし、X線撮影を必要とする患者を移動させることなく、患者のいる病室や手術室に装置を移動して撮影ができるために患者の負担が少なく、また最新の技術が使った撮影が可能であることについて謝意が述べられました。

この機材が、約100万人の地域住民の医療をカバーしているサン・ホセ病院の医療システムの更なる強化につながり、多くの市民の健康と生命を守ることに貢献することを心から期待しています。



引渡式の様子



サン・ホセ病院長代理挨拶



大使挨拶



首都圏州北部保健局長挨拶



サン・ホセ病院画像診断部長挨拶



テープカット



関係者による記念写真



供与した移動式X線撮影装置